

2026年8月の出来事



2026 年平和旬間（8月6日～15日）

8月6日（日）「SILENT FALLOUT」上映会



昨年、上映した「放射能を浴びた X 年後」の伊東英朗監督の第3弾、ドキュメンタリー映画「SILENT FALLOUT」を9時ミサ後、上映し、約40名の方々が参加しました。

この映画は1950～60年代、アメリカ大陸で100回以上行われた大気圏内核実験の“その後”を中心に描かれています。当時、放射能被ばくの危険性について、アメリカ国内ではあまり知らされていませんでした。

「子供たちが飲んでいる牛乳が放射能に汚染されているのでは？」という噂が広がり、お母さんたちが立ち上がって子供たちの乳歯を集め、乳歯の放射性汚染を調べることで、子供たちの被ばくの実態があきらかになりました。

この結果が、時の大統領 J.F. ケネディーを動かし、アメリカ大陸での大気圏内核実験を中止に追い込んだのです。しかし、太平洋上での核実験は続き、日本の漁船などの被ばくをはじめ、放射性物質は風に運ばれて世界中に、今もひろがっています。



上映後、参加者から「こんなことがあったとは知らなかった」「放射能汚染の危険性を、もっと伝えていかなければ」という声がきかれました。

柳本神父の「東ティモールの文化シリーズ」のパネル展示



8月はじめから数週間、以前、柳本神父様が作られた「東ティモールの文化シリーズ」のパネルを聖堂窓際に展示しました。

8月15日（土）

聖母マリアの被昇天ミサ

今年8月15日が土曜日にあたったため、18:30より被昇天のミサを行いました。夕方でしたが多くの方が参加し、ともに祈りました。

8月30日（日）

第2回 創立150周年行事会議

9時ミサ後、自由参加で150周年記念行事について考える会議が開催されました。約13名が集まり、有意義な話し合いを行いました。